



# 高輪だより

平成28年7月号

港区立高輪幼稚園  
園長 新山 裕之

## <高輪ならではの保育>

高輪幼稚園の園章の中央には「二つ巴」があります。これは、赤穂浪士の大石内蔵助の家紋です。泉岳寺とは深いご縁があるということで、今回初めて5歳児が探検隊として、泉岳寺を訪れることができました。本堂では凜とした雰囲気の中で、心を静かにし、いろいろなお話しを分かりやすくお話ししていただきました。地域に根差した幼稚園として、高輪という歴史ある街にある幼稚園ならではの保育を進めたいと思っています。



泉岳寺本堂で和尚さんから話を聞く5歳児

## <園内の自然物を教材として生かす>

高輪幼稚園ならではの保育は、日々の活動にも様々展開しています。5歳児が作って壁面に飾ってあるTシャツ型の布は、園庭にあるエンジュの葉やクワの実などを使って染めたものです。それらは今までもあったものですが、色水遊びのつながりから、布を染めるために担任たちが教材開発したものです。「高輪色水研究所」と称して、色や匂いなどの違いについて疑問に思ったことを実験したり、比べたりする動きは、保幼小公開保育の際に、小学校の先生方も学びの姿に驚かれていました。



足育講演会では土踏まずや靴について学び、

## <体験を通しての学び>

アクティブ・ラーニングが大事と言われていますが、体験を通しての学びが大切です。色水遊びでは、数日たつと腐って匂いが変わってくることに気付いた子どもたちは、「くさる」という絵本を読んでもらい、日がたつと色や匂いに変化することを実体験を通して深く学んでいきました。



乳幼児の救急救命法は教員も一緒に学びました

6月は大人もたくさん学びました。足育講演会は、大勢の保護者の皆さんが、熱心にお話しを聞いてくださいました。「土踏まず」がある意味や扁平足が引き起こす体の不調についても知ることができ、さらに保護者の皆さんも足形測定をしてもらいました。PTA主催の救急救命講習会は、乳幼児に特化した理論と実技を具体的に学ぶことができ、大変貴重な体験でした。



高輪色水研究所でいろいろ実験してみよう

・・・文月(ふみづき)・・・

高輪の  
二十四節気

小暑(7日)・・・七夕飾りに願いを託します・・・

大暑(22日)・・・梅雨が明けると、いよいよ夏休み・・・

裏庭のピワは、春に剪定をした影響か、全くの不作でした。しかし、夏みかんは豊作で、去年からずっと食べてみたいと思って見守っていた子どもたちはようやく、自然のすばさを味わうことができました。普段から身近にかかわっているからこそ味わえる、素朴な味や新鮮さは何物にも代えがたい貴重な直接体験です。きっと思い出の味になったのではないのでしょうか。今後の夏野菜の収穫も楽しみです。



大勢の参観者にも動じることなく遊ぶ子どもたち